煙突屋ペロー（1930）

メディア 映画　アニメ
ジャンル
製作国　日本
色彩　B&W
初公開日 1930/04/13
公開情報 深田商会

【解説】
　1930年に、京都のアマチュア映画グループ・童映社が製作した全23分の影絵アニメーション。
　トム・タム国に住む、煙突掃除人のペロー少年。彼は鷲から鳩を救い、その鳩からお礼に「兵隊の出る卵」を貰う。だがペローは帰国した王子の汽車を弾みで壊し、死刑を宣告された。そのとき、戦争が勃発。ペローは「兵隊の出る卵」を使って殊勲を挙げ、罪を許されて英雄になった。しかし釈放されて故郷に帰る途上で彼が見たもの、それは戦禍に荒廃した町の姿だった……。
　当時の日本の主戦論拡大を背景に、反戦メッセージを込めて作られた作品で、童映社の影絵アニメとしては3作目にあたる。本作は1986年にそれまで行方不明だったフィルムが発見されるものの、当時の内務省の検閲によるものか後半4分の1が喪失。その喪失部分をシネマ・ワークとグループ・タックが復元して、さらに全編をトーキー作品へと作り直したものが現在のバージョンである。

【クレジット】
演出　田中喜次
プロデュース　伊藤正昭
原作　田中喜次
脚本　田中喜次
撮影　舟木俊一

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.